

『頭頸部の希少腫瘍における疫学、経過、治療成績、および予後の検証』 について

第1版 2021年10月12日

1. 研究（調査）の目的と概略

頭頸部腫瘍は希少であるため、多数例での検討が難しく、なかなかエビデンスにつながる研究ができません。本研究では、エビデンスの創出および将来的な治療成績の向上を目指して、京都大学医学部附属病院耳鼻咽喉科・頭頸部外科とその関連病院（共同研究機関）で治療を受けられた頭頸部腫瘍患者さんの治療内容と成績、経過を検証します。

2. 研究（調査）の方法

2000年1月1日から2020年12月31日までの期間に京都大学医学部附属病院 耳鼻咽喉科・頭頸部外科で頭頸部腫瘍と診断され、治療を受けられた患者さんに関して、疾患名、臨床経過（症状、診断、治療、治療成績）、年齢、性別に関する情報を収集します。氏名や住所は収集いたしません。

3. 研究（調査）の参加施設

京都大学医学部附属病院 耳鼻咽喉科・頭頸部外科、神戸市立医療センター中央市民病院 耳鼻咽喉科・頭頸部外科、静岡県立総合病院 頭頸部・耳鼻いんこう科、静岡市立静岡病院 耳鼻咽喉科・頭頸部外科、滋賀県立総合病院 耳鼻いんこう科、大津赤十字病院 耳鼻咽喉科・頭頸部外科、国立病院機構京都医療センター 頭頸部外科、田附興風会医学研究所北野病院 耳鼻咽喉科・頭頸部外科、大阪赤十字病院 耳鼻咽喉科・頭頸部外科、兵庫県立尼崎総合医療センター 耳鼻咽喉科・頭頸部外科、天理よろづ相談所病院 耳鼻咽喉科、奈良県総合医療センター 頭頸部外科、日本赤十字社和歌山医療センター 耳鼻咽喉科、公益財団法人大原記念倉敷中央医療機構倉敷中央病院 耳鼻咽喉科・頭頸部外科、小倉記念病院 耳鼻咽喉科・頭頸部外科

4. 調査期間

調査期間（2000年1月1日～2020年12月31日）、研究期間（研究実施機関の長の許可日から5年間）

5. 調査の対象となる患者さん

本研究の対象となるのは、2000年1月1日～2020年12月31日の間に、頭頸部腫瘍の診断の元、経過観察もしくは治療を受けられた患者さんです。

6. この調査への協力は任意です。

本研究は、患者さんの診療記録から得られた情報のみを使用する「観察研究」と呼ばれるもので、患者さんに新たな診療や検査を強いるものではありません。研究に用いる情報は、個人が特定できないよう匿名化して管理し、個人情報保護をします。

データのご使用をお断りになる場合には直ちに情報の利用を停止いたしますので、ご遠慮なくお申し出ください。他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で、研究に関する資料の入手・閲覧が可能です。

7. 研究資金・利益相反について

研究資金：運営費交付金

利益相反について、「京都大学利益相反ポリシー」「京都大学利益相反マネジメント規程」に従い、「京都大学臨床研究利益相反審査委員会」において適切に審査されています。

8. お問い合わせ先

この研究は、京都大学大学院医学研究科・医学部及び医学部附属病院 医の倫理委員会の審査を受け、研究機関の長の許可を得て行われます。

研究責任者：大森孝一（京都大学大学院医学研究科耳鼻咽喉科・頭頸部外科）

問い合わせ先：

京都大学医学部附属病院 耳鼻咽喉科・頭頸部外科 岸本 曜 電話 075-751-3346

京都大学医学部附属病院 臨床研究相談窓口 電話 075-751-4748 E-mail: ctsodan@kuhp.kyoto-u.ac.jp